

～はなのえん～

花 室

筆（ふじ入居者：田中俊子様）

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 石黒 善治

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第37号 発行日：令和3年12月1日

『理事長就任に あたり』

去る6月23日に開催されました理事会におきまして、新たに社会福祉法人積慶園の理事長に就任いたしました古村と申します。法人の舵取りを担う責任の重さを痛感しております。法人の発展のため誠心誠意、努力していくたいと考えていますので、今後もご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

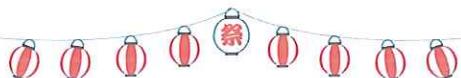
積慶園は『積善の家に余慶あり』という中国・易経の文言をもとに名付けられました。この言葉には、「良い行いには必ず良い報いがある」という意味があります。1945年の太平洋戦争の終戦時、京都府からの要請をうけ、戦火を免れ、京都駅近辺に寄り集まっていた戦災孤児たちを収容・保護したのが法人の始まりです。その施設が戦後に児童養護施設となり、その後、乳児院を併設し、児童館（学童クラブ）3館も京都市より受託しています。特別養護老人ホームは平成17年頃、戦災孤児たちを収容してから60年以上が経ち、戦災孤児たちも高齢者となり介護支援が必要となってきており、高齢者入所施設が必要ではないかと、理事会で話し合われ、開設に向けて動き始めたという経緯があります。当時、私も理事会に事務長として参加していましたが、特養のことは他人事で、まさか自分にお鉢がまわってくるとは夢にも思いませんでした。のちに当時の理事長より特養の立ち上げを命ぜられ、大変戸惑った記憶があります。しかし、多くの人々の助けを借り、平成20年12月24日に山科積慶園は開所にこぎつけることができ、ほっとした記憶があります。そのように山科積慶園には強い思い入れが、今も私の心の中に存在しています。7年あまり山科積慶園の施設長を務めた後、私は西京区樺原にある児童養護施設の施設長に異動となりましたが、山科積慶園は、その後、石黒施設長はじめ素晴らしいスタッフに引き継がれており、本部で安心して見てすることができます。

社会福祉法人 積慶園は、幅広く奥深く福祉の輪を拓げ、赤ちゃんから児童、そしてお年寄りの方々、誰もが大切にされ、安心して暮らせる社会の実現を目指して、これからも活動してまいります。今後もどうぞよろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人積慶園
理事長 古村 正哉

《夏まつり》



本年度の夏まつりも新型コロナウイルスの影響で、各フロア単位の開催となりました。入居者様には夏まつりの雰囲気を感じて楽しんで頂きたいという思いで、各階職員で案を出して企画しました。5階では、屋台を感じてもらう為に器にまでこだわって焼きそば・たこ焼き・焼き鳥・フランクフルト・鰻ちらし寿司。おやつには、ミニクレープ・チョコバナナ・かき氷・綿菓子・ラムネを提供しました。ユニット内で調理したので「美味しそうな匂いがしてるなあ」と、入居者様は食べる前から上機嫌のご様子。そして出来上がったものを召し上がる皆さん「おいしいなあ」と満足されていました。

ゲームでは、ボーリング・ヨーヨー釣り・ボール投げ・スイカ割り等を実施しました。特に盛り上がったのはスイカ割りです。入居者様には作成した偽スイカを割ってもらいましたが、職員による本物のスイカでスイカ割りも実施しました。入居者様からは「楽しかった」「スカッとしたわ」と、たくさんの笑顔を見る事が出来ました。

夏まつり後には、1階のスペースにてそれぞれのユニットで実施した夏まつりの写真を展示しました。写真を簾に貼り、飾り付けをしました。ご覧になった入居者様は「たくさん的人が居るんやな、皆いい顔してはるわ」と、夏まつりの余韻に浸っておられました。

御家族様にも気軽に参加していただける日が来るのを待ち遠しく思います。(小林)



写真展の様子



祝ご長寿

9月17日に長寿のお祝いを行いました。施設長が各フロアへ訪問し、節目の該当の方にお祝いメッセージの色紙と記念品を贈りました。施設長からメッセージを読み上げてもらうと、とてもいい笑顔で受け取っておられました。



おやつの時間には、入居者様に秋の三種盛りおやつが提供され、いつもと違うおやつに皆様大満足のご様子でした。(大屋)



《3階出前レク》



11月18日待ちに待った出前レクです。前日まで、「あと何日で出前が食べられる」と指折り数え、楽しみにされていた入居者様もおられました。出前が届き、ご自身で選ばれたお寿司が目の前に届くと「わー。美味しそう」と満面の笑みを見せて下さり、普段食の細い入居者様も完食なさるなど、とても喜んでおられました。食べたいものをご自身で選び、楽しく食事されるご様子を見ると、私達も嬉しく、また出前レクを開催したいと思いました。(小島幸)



《5階出前レク》

5階では10月30日、お弁当を注文し、皆で食べました。二段の折詰弁当で彩り良く、品数も多くて、入居者様は大変喜んでおられました。お酒の好きな方にはお酒の提供もし、「美味しかったわ。また食べたいわ。」と大満足のご様子でした。入居者様のたくさんの笑顔を見ることができ、スタッフも嬉しく思いました。今後も入居者様に楽しんで頂けるよう、色々な企画を考えていきたいと思います。



《8~11月のイベント食》

月に1回程度、季節の食材を入れた食事を提供しています。

9月は9日が重陽(ちゅうよう)の節句で、菊ちらし寿司を、20日の敬老の日は大きな栗をのせた赤飯を提供しました。10月は新米で松茸ご飯や栗ご飯を提供しました。松茸ご飯は、お弁当箱を開けた時に松茸の良い香りがして、入居者様の食欲が刺激されたのか、普段は食が細い方も完食されていました。

デザートも、季節の食材を取り入れ、梨や柿をスライスして召し上がっていただき、季節を感じてもえるように工夫しています。
(野崎)



精進揚げ等
(お盆の献立)



松茸ご飯等
(秋の行楽弁当)



祝い弁当
(敬老の日)

医務室だより

現在、新型コロナウイルス感染症の感染状況は改善基調を維持していますが、いまも新たな陽性者の発生が続いている、一部の地域ではクラスター（集団感染）も発生しています。京都府からは『再び感染拡大を繰り返さないための警戒を続けながら、少しずつ日常生活や社会経済活動を進める「新たな日常」を続けることが必要です。』と発表がありました。

山科積慶園では入居者様をはじめ、職員も全員感染者を出すことなく無事に過ごせていることに感謝しています。これからも感染対策を続けながら、慎重に行動するようにしましょう。(小島美)

デイサービスセンター ぬくもり 4ヶ月の行事

《敬老会》

緊急事態宣言下の敬老週間だったので、イベントが行えずプレゼントをお渡しするだけでしたが、皆さんご自身で手作りされたネックレスやブレスレットをきれいに包装して手形を押したタペストリーを準備させていただきました。ネックレスは皮紐にビーズと和柄のテープを巻いた飾りを通して簡単に自分で作られた物です。タペストリーは手形を取り上下にエコストローで枠をつけ、壁掛けになる物を作りました。



《秋の運動会》

秋の運動会は大いに盛り上がりました。ピンポンをお玉に入れてリレーするお玉送り、パン食い競争のようにお菓子を吊るして自分でトングを使って取る競技、職員が玉入れの箱を動かし、利用者様はボールをその箱に投げ入れる玉入れと三種目で楽しんでいただきました。どの種目も御利用者様は他の人に負けまいと力が入ります。周りからの声援を受け、いっぱい体を動かし、満足そうなご様子でした。



《外出レク》

緊急事態宣言が解除になった 10 月に久々の外出レクを実施しました。遠出は避け近場の生協やコーナンへ買い物に出かけました。どちらも最近オープンしたので行った事がない方も多く、興味津々で出かけました。コーナンにはペットショップもあり、買い物しない利用者様や動物好きな利用者様は可愛い子犬や子猫に癒されていました。久々の買い物に皆さん楽しそうで、機会があればまた企画をしたいと思います。



《紅葉ドライブ》

11 月に入り木の葉が色づいてきた中旬に紅葉ドライブ出かけました。堀川通りの銀杏並木や少し足を伸ばして北山通りや国際会議場付近の紅葉も見てきました。また、別の日には大津のなぎさ通りのメイプルやメタセコイヤの大木があり、赤く色づいている葉が



太陽の光にキラキラと輝いて見えました。来年はカメラを持って行き、きれいな紅葉を撮影したいと思います。

《クリスマスツリー作り》

11 月後半はクリスマスツリーを作りました。フェルトをくるっと巻いて円錐形を作るだけで、もうそれらしくツリーの形になります。



星型のビーズやデコレーションボールで周りを飾りリボンや星をつけ、荷造り用のフワフワの紐をくるりと巻くと雪のように見えて可愛いツリーが出来上りました。12 月に入ったら皆さんに持ち帰っていただきます。

《壁面製作》

壁面製作は、ほぼ毎月しています。大文字、お月見、ぶどう狩り、七五三をテーマに作りました。時にはインターネットから取り入れた題材を印刷して、利用者様に色を塗ってもらったり、形に切って頂きながらみんなで作り上げています。他の部署の職員さんに「毎回楽しみやわ」と言ってもらえるとちょっとうれしくなります。



・・*・*・編集後記・*・*・*・*

秋の兆しも少なく冬の寒さが拡がってきております。コロナウィルスも徐々に終息の傾向が見えるようになってまいりました。面会の機会が増えますように全職員、体制を整えてお待ちしております。皆様、お体を大切にしていただき、寒くなりゆく季節を乗り切りましょう。(阪井)